

みずほCustomer Desk Report 2016/08/17号(As of 2016/08/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.11 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.26	1.1181	113.21	0.9731	1.2880	0.7675
SYD-NY High	101.29	1.1323	113.27	0.9737	1.3051	0.7750
SYD-NY Low	99.55	1.1177	112.35	0.9590	1.2879	0.7654
NY 5:00 PM	100.30	1.1279	113.12	0.9621	1.3045	0.7695
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.745/11.255		△25RR	1.898	Yen Call Over	
NY DOW	18,552.02	▲ 84.03	債券市場	日本2年債	-0.1940	▲1.0bp
NASDAQ	5,227.11	▲ 34.90		日本10年債	-0.0850	-
S&P	2,178.15	▲ 12.00		米国2年債	0.7459	2.0bp
日経平均	16,596.51	▲ 273.05		米国5年債	1.1591	2.4bp
TOPIX	1,298.47	▲ 18.16		米国10年債	1.5746	1.7bp
シカゴ日経先物	16,575	▲310.00	為替市況	独10年債	-0.0300	4.4bp
ロンドンFT	6,893.92	▲47.27		英10年債	0.5850	5.4bp
DAX	10,676.65	▲62.56		豪10年債	1.8770	0.4bp
ハンセン指数	22,910.84	▲21.67		USD/CNH	6.6303	▲ 0.0163
上海総合	3,110.04	▲ 15.16		ドルインデックス	94.78	▲0.85
USDJPY 3M Vol	12.66	0.59%	商品市況	CRB指数	186.637	1.49
USDJPY 6M Vol	11.89	0.36%		NY金	1,356.900	9.40
EURJPY 3M Vol	11.61	0.30%		WTI	46.580	0.84
EURJPY 6M Vol	11.51	0.25%		Dubai Spot	45.67	1.82

東京	ドル円相場はナイト時間に高値101.29をつけた後、101.26レベルで東京時間オープン。日経平均株価が軟調に推移する中、ドル円は101円台前半で推移。前日海外時間に100.87まで下落した後の戻りが鈍い印象で上値の重さが意識された。そして夏季休暇で薄商いとなる中、ドル円は101.00を割り込むとストップロスオーダーを巻き込む形で100円台半ばまで下落。午後に入っても日経平均株価が前日終値比200円超安と一段と弱含む展開となったことで、ドル円は100円台前半まで下げ幅を拡大。東京時間安値100.16をつけた後、100.26レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、100.26レベルでオープン。夏季休暇で、本邦の市場参加者が少なく、薄商いの中、100.00の大口を割り込み99円台まで下落。仕掛け的な買いが入ったとの見方が出ていた。その後、99.82円まで下落し、99.85レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.2904レベルでオープン。英豪系資源大手の年度決算で過去最大の赤字が発表されると、1.2885まで下落。しかし、7月の英CPIが、前年比+0.6%と、2014年11月以来の大幅上昇を示すと、1.2997まで急伸し、1.2965レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	年内米利上げ観測の後退を背景にドル安圧力が広がる中、本日のドル円相場は99.85レベルでNYオープン。朝方発表された米7月CPIは、前月比横ばい、前年比+0.8%と予想をやや下回る結果となったことで、発表直後にドル売りが強まり、ドル円は一時99.55まで下落した。しかし、ダウ・NY連銀総裁がインフレで、「利上げの時期に近づいている。9月の利上げはありえる」と発言したことで、ドル円は急速に戻し100円台を回復、また、その後発表された米7月鉱工業生産と同7月設備稼働率が予想を上回る結果となったことで、ドル買いの動きが加速し、ドル円は一時100.54まで上昇した。利上げに対して慎重姿勢とみられていたダウ・NY連銀総裁にしては効率的な発言と市場では受け止められ、ダウは利益確定売りが優勢となるとドル円は次第に伸び悩み100.40付近で落ち着いた動きとなった。午後に入り、ドル円は100円台前半で小動きが続く100.30で海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1295レベルでNYオープン。海外時間からドル売り優勢の流れを引き継ぎ、米7月CPIが予想を下回ったことでドル売りが強まると、ユーロドルは一時1.1323まで上昇した。ただ、ダウ・NY連銀総裁発言などを受けたドルの買い戻しが入ると、ユーロドルは1.12台半ばまで伸び悩んだ。その後、ユーロドルは1.1275付近でレンジ推移となり、1.1279レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月16日	10:30	豪 RBA議事要旨(8月会合分)	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.1%/0.6%	-0.1%/0.5%
	17:30	英 コアCPI(前年比)	7月 1.3%	1.4%
	17:30	英 PPI産出(季調前、前月比/前年比)	7月 0.3%/0.3%	0.2%/0.0%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	8月 57.6/0.5	50.2/2.0
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	8月 4.6%	-
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	7月 1,211K/1,152K	1,180K/1,160K
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/0.8%	0.0%/0.9%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	7月 0.1%/2.2%	0.2%/2.3%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月 0.7%	0.3%
	22:15	米 設備稼働率	7月 75.9%	75.6%
8月17日	1:30	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月17日	10:30	豪 賃金指数(前期比/前年比)	2Q 0.5%/2.0%	0.4%/2.1%
	17:30	英 失業率	7月 2.2%	2.2%
	17:30	英 ILO失業率	6月 4.9%	4.9%
	2:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
8月18日	3:00	米 FOMC議事要旨(7月会合分)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.50-101.00	1.1200-1.1350	112.50-113.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、一時99.55まで下落した。アジア時間から日経平均株価が下落する中でドル円にも下押し圧力がかかっていた他、海外時間にドルが全般的に売られたこと等による。夏枯れ相場で流動性の乏しい中、やや仕掛け的な動きもあったか。本日は、FOMC議事要旨(7月分)に注目。年内利上げの可能性についてFEDのトーンを確認したい。内容次第でドル主導で上下に振れることが考えられるため注意が必要だ。